

平成31年度学校自己評価システムシート (県立越谷東高等学校)

目指す学校像	志を高くチャレンジ精神に満ちた生徒を育て、きめ細かく面倒見のよい指導を実践し、地域から信頼される学校
--------	--

重点目標	1 学習支援を充実させ、生徒の学習力を高める。 2 生徒一人一人の希望にそった進路決定を実現させる。 3 規律ある生活態度を身につけさせ、部活動を活性化させる。 4 地域との連携を深め、社会に貢献できる生徒を育成する。
------	--

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	7名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	9名

学 校 自 己 評 価					年 度 評 価 (3 月 1 8 日 現 在)		
年 度 目 標					年 度 評 価 (3 月 1 8 日 現 在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	【現状】 ○生徒アンケートによる授業満足度はやや増加したものの、実力テストの結果は現状維持である。 ○家庭学習に取り組む生徒が増加傾向にある。 ○中学校との授業交流や教員研修を実施し、研修に努めている。 【課題】 ○生徒の学習意欲を高め、家庭学習を定着させる。 ○中学校との授業交流や教員研修を推進し、指導力向上に努める。	○生徒の家庭学習習慣を定着させ、学習力の向上を図る。 ○組織的な学習支援体制を充実させることにより、指導力向上を目指す。	①家庭学習を前提とした授業を展開し、学習習慣を身につけさせる。 ②実力テストの実施と結果を活用し、生徒の学習意欲を高め、学力を向上させる。 ①教員の指導力向上を図るため、授業公開や研究授業を実施する。 ②研究授業後に各教科で研究協議を実施、授業改善に努める。 ③研究授業や授業観察を行い、教員の指導力向上に努め、生徒の学習意欲を高める。	①授業アンケート「予習・復習をしている。」50%以上。 ②実力テスト結果を昨年よりも向上させ、経年変化を分析。 ①授業公開を年6日実施。初任研・5年研・未来学び研究開発にて、研究授業を実施。 ②各教科で研究協議を実施。 ③学校評価アンケート「分かりやすい授業している。」70%以上。	学習力の向上を図る指導が概ね達成。 ①授業アンケート「予習・復習をしている。」77.9% ②学習到達度では、上位層は伸びているが、下位層は伸びが見られず、二極化傾向にある。 指導力向上の取組がほぼ達成できた。 ①授業公開を年8日実施。研究授業を初任研・5年研等で7回の実施。 ②6月に教員間で授業観察を行い、6/20に研究協議を実施。 ③学校評価アンケート「分かりやすい授業している。」77.5%。	B	宿題として家庭学習に取り組む生徒は多いが、自発的な学習をする生徒は少ない。自発的な学習習慣を身につけさせることが課題である。 2年次から文理選択に分かれ、文系は数学、理系は国語が苦手になっている。総合的な基礎学力の底上げが必要である。 授業公開や研究授業を実施し、授業改善に役立った。教科を超えた学び合いの回数を増やし、さらなる指導力向上に取り組む。
2	【現状】 ○進学・就職の多様な進路実現に向けて対応している。 ○計画的な進路指導により早期進路決定させ、指導を充実させている。 【課題】 ○計画的な進路指導を継続し、生徒の進路を実現させる。 ○大学入試改革への対応。	○計画的組織的な進路指導を遂行し、自己理解に基づく生徒一人一人の適切な進路実現を図る。	①計画的な進路指導を実施し、生徒の進路を実現させる。 ②進学希望者へ進学補習を計画的に実施する。 ③多様な進路希望に応じた柔軟な進路指導・面接指導の実施。 ④大学入試改革に向けた教員研修に積極的に参加する。	①進路未決定者数を0に近づける。 ②每学期進学補習の実施。長期休業中に進学補習の実施。大学短大の現役進学者数の増加。(H30 100人) ③学校評価アンケート「進路に関する情報が生徒に十分に提供されている。」90%以上。 ④大学入試改革教員研修会の実施。	計画的組織的な進路指導をほぼ達成。 ①進路未決定者数 11名。(3/18現在) ②每学期・休業中に進学補習を実施。現役進学者数 103名。(3/18現在) ③「進路に関する情報が生徒に十分に提供されている。」88.1%。 ④6/20 教員研修会実施。1・2 生徒向け進路対策講演会を2回実施。	A	生徒一人一人の適切な進路実現を図るため、計画的・組織的な進路指導を行ってきた。大学入試改革と大学の定数厳格化に対応した指導を充実させることが課題である。外部の研修会に積極的に参加し、全職員で情報を共有することが必要である。
3	【現状】 ○全職員が共通理解の下で指導にあたることにより、生徒が落ち着いた学校生活を送っている。 ○部活動加入率 91.2%、部活動の活性化に取り組んでいる。 【課題】 ○職員間の協力体制を維持、家庭との協力体制をさらに充実する必要がある。 ○部活動加入率を維持・向上させ、部活動をさらに活性化させる。	○基本的生活習慣を確立させ、継続した生徒指導を実践する。 ○部活動の活性化を図る。	①挨拶の励行。言葉遣いの指導の徹底。 ②統一基準による整容指導の徹底。 ③全職員による身だしなみ指導の実施。	①学校評価アンケート「挨拶や言葉遣いの指導を十分に行っている。」90%以上。 ②学校評価アンケート「頭髪や服装指導を十分に行っている。」90%以上。 ③毎学期に身だしなみ指導を実施。	継続した生徒指導の実践をほぼ達成。 ①「挨拶や言葉遣いの指導を十分に行っている。」93.4% ②「頭髪や服装指導を十分に行っている。」93.4%。 ③毎学期3日、衣替えに4日、年間13日間、身だしなみ指導を実施。	A	全職員の共通理解のもと生徒指導を実施し、落ち着いた環境を整えている。今後も継続して規律を徹底させ、しっかりとした学校生活を送れるよう指導していく。 部活動体験日を増やすことを検討する。HP等でのさらなる情報発信を行っていく。部活動に加入している生徒が、学校行事等で活躍できる場面を増やしていくことが課題である。
4	【現状】 ○学校説明会等やHPにより積極的な情報発信を行っている。 ○PTA・後援会と連携し、学校運営にあたっている。 【課題】 ○学校説明会等の参加者を増やし、HPを更新し、積極的に情報発信を行う。 ○今後もPTA・後援会と連携して生徒の健全育成を図り、学校運営に活かしていく。	○地域との協働を図るとともに、魅力ある情報発信を行う。 ○保護者や地域に、より多くの学校情報を発信し、本校の教育活動の理解を図る。	①学校説明会を通じて、魅力ある情報発信を行う。中学校訪問を全職員で実施し、地域との協働を図る。 ②HPによる学校の情報発信を積極的に行う。 ③地域に貢献するため、他校種との交流に積極的に参加する。	①学校説明会参加者数の延べ800組以上。(H30 757組) ②HPトップページの更新回数を年間50回以上、HPのアクセス数月平均10,000回以上。 ③越谷市内中学校との授業交流を実施、中学生対象の授業体験を実施。	魅力ある情報発信がほぼ達成できた。 ①学校説明会参加者数の延べ701組。(昨年比-56組) ②HPトップページを77回更新。HPアクセス数月平均30,932回。 ③3日間で4教科12名の教諭が、越谷市立東中との授業交流実施。	A	HPをリニューアルし、魅力ある情報発信を行った。中学校訪問を全職員で実施し、積極的に情報発信を行ったが、学校説明会で延べ701組の参加(昨年-56)であった。来年度は参加者を増やすため、学校説明会の時期や内容を変更して実施する。 PTA・後援会と連携し、学校行事を運営することができた。保護者からの満足度90%以上を維持していけるよう、今後も保護者からの意見を受け止め、学校運営に活かしていく。

学校関係者評価	実施日 令和2年2月14日
学校関係者からの意見・要望・評価等	毎年、家庭学習に取り組ませることが課題である。一般入試で大学受験を目指す生徒が少ないことが一因として考えられる。大学入試改革により、来年度から変更になるので、それに対応した学力を身につけさせ、継続した指導を行って欲しい。 学習向上の成果が見られれば、さらに意欲的に取り組むようになるので、成果が分かるような取り組みを検討して欲しい。 授業観察を行い、生徒が落ち着いて授業を受けていた。プロジェクターを使った授業や、グループによる話し合いの授業が見られた。引き続き生徒の意欲を引き出し、工夫した指導を行って欲しい。 生徒一人一人の進路を早期に決定することが、目標に向けて取り組むことに繋がるので、早期に進路決定を促す情報提供と指導を行って欲しい。 進学希望対象の進学模試を実施しているので、希望校の学部や学科、試験科目などを早期に調べ、準備させることが大切であるため、対応と指導をお願いしたい。 越谷東高校の生徒は真面目で、地元からの評判が良くなっている。JRC部と希望した生徒が、地元ロータリークラブと連携し、ボランティア活動に取り組んでいる。さらに生徒を伸ばすためには、地元ロータリークラブが行っている青少年交換留学生制度があるので、ぜひ応募し、世界に目を広げて欲しい。 部活動を活性化させることは大切であるが、やめさせない指導も大切である。部活動を継続させるため、工夫した指導を行って欲しい。 HPを使って学校を宣伝することは大切なことであり、HPにより学校の様子が良く伝わり、情報発信されている。 学校の良いところを、もっと積極的にアピールしてよいのではないかと。HPだけでなく、様々な取り組みを検討して欲しい。 地域との交流は、学校の宣伝に繋がるので、地域の行事等に積極的に参加を検討して欲しい。 保護者の学校に対する関心が非常に高く、保護者が積極的に学校行事に参加している。生徒の評判がよく、学校が良くなっている現れである。引き続きPTA後援会と連携を進めて欲しい。